令和４年度事業報告

１．当法人の事業概況

１）事業を取り巻く概況

発生から4年目を迎えた新型コロナウイルス感染症は、医療従事者などの懸命な対策にもかかわらず一向に終息の兆しが見えません。しかし、経済活動やコミュニケーションなどが麻痺したことによる弊害は、国同士や民族間の紛争や犯罪の凶悪化などにも及び、国際社会はパンデミックの収束を宣言せざるを得なくなりました。日本も、本年5月8日をもって感染症法上の分類を2類相当から5類へと引き下げ、なし崩し的な収束へと舵を切りました。

とは言え、ウイルスの性質が危険性の低いものへと変化した訳ではなく、私どもといたしましては、世間的に感染対策が緩みつつある現状こそ、改めて気を引き締める時期であると認識しております。

令和4年度は、ショートステイを中心とした特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホームにおいてクラスターを経験したほか、ヘルパー

ステーションや居宅介護支援事業所でも職員の感染が確認されました。このことによって、各事業所とも前年から大きく収入を落とすこととなり、光熱水費をはじめとする物価上昇と合わせて、後の決算報告で詳述いたしますが、収支は大きく低下することとなりました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、これまで特例措置や緩和措置として認められてきた、サービス提供の簡略化や人員基準の緩和などの介護報酬上の特例も、段階的に廃止されていく見込みであることから、国や自治体の動向に注視して、事業運営を進めて参ります。

２）主な事業概況

令和4年度の定期職員採用に関しましては、当法人始まって以来初めて、4月1日付の定期採用者無しという極めて残念な状況となりました。派遣職員の雇用等により定められた配置基準を下回るような状況ではありませんが、平成8年の開校以来、福島県内の介護福祉士養成をリードしてきた福島介護福祉専門学校が閉校し、その他の県内養成校も外国人留学生の来日停止によって大きく募集定員を割り込んでおり、今後の職員募集は今まで以上の困難さが予想されます。

次に、「いずみ祭」を諸事情により休止している現状において、唯一の施設の地域開放行事となっております、「スプリングフェスタ」は、新型コロナウイル感染症の蔓延により中止しております。

「社会福祉法人による地域における公益的な取組」として恒例となっていた「いずみ健康楽習塾」は、令和4年7月6日から12月21日までの全25回の

教室を予定いたしましたが、スタッフの新型コロナウイルス感染により途中4回の休講を余儀なくされ、結果21回の教室となりました。過去最多に並ぶ16名の受講者と7名のサポーターの参加により好評のうちに終了し、次年度の開催までに心身の機能低下を危ぶむ声が聞かれたことから、1月から次回開催の決定まで、ふまねっと運動のみを行う「ふまねっと健康教室」として、月1回の教室を継続しております。

２．事業所別事業概況

　１）特別養護老人ホーム（ショートステイを含む）

　　令和4年度の特養本体は、27名の退居に対し29名の新規入居がありましたが、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により新規入居を控えた時期があったため、結果として92.6％と前年度の95.3%から3％近く稼働率を低下させることとなりました。

ショートステイについても新型コロナウイルス感染症のクラスターが主にショートステイの利用者、職員に集中し利用制限したことから、稼働率を大きく落とし、74.2％の稼働率となりました。その結果特養本体、ショートステイを合わせた稼働率は87.18％となり、90％を下回る結果となりました。

令和4年度は、特養本体が退居者以上の新規入居者を受け入れたにも関わらず、稼働率を低下させたことは、新型コロナウイルス感染症のクラスターにより、退居後の空床が一時的に大きく拡大したことが要因です。

ショートステイ事業所と合わせ、感染症のクラスターが発生した場合に、いかに入居の受入れを停滞させずに「事業を継続」させるかという、ＢＣＰ計画の早期立案が必要とされます。

　　続いて介護事故の状況ですが、年間188件の事故が報告されており、内訳としては、歩行時の転倒、車椅子・ベッドからの転落が56件（29.8％）、薬の飲み忘れなどの服薬事故21件（11.2％）、などとなっております。そのうち骨折に至る重大事故も4件発生しました。いずれの事故も同様ですが、特に服薬、誤嚥の事故は生命に直結する可能性のある事故であり、1件でも事故の発生を少なくできるよう今後も更に配慮して参ります。

　　栄養管理業務は、調理業務の委託先を「日清医療食品株式会社」に変更し食事提供サービスの質の向上を目指しましたが、結果として質の低下を招く結果となってしまいました。事業者とは繰り返し意思の疎通を図り、ご利用者さまにご満足いただける食事サービスの提供が出来るよう努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症の施設内クラスター発生は、業務の停滞と同時に大きく業績を悪化させることを痛感いたしました。今まで同様感染対策を徹底し、感染予防に努めて参ります。

２）デイサービスセンター

令和4年度の稼働実績は、8月と12月に2回の新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験したことにより、計10日間の利用受入れ休止期間と10日間の利用定員の抑制期間を設けたため、前年から利用者数を434人減らし稼働率も69.3％と前年の71.58％から下げざるを得ませんでした。それでも3月の稼働実績は前年同月を上回り、新年度に入ってからは現在のところ、収入予算値を上回る稼働（4月稼働率＝77.5％）となっており、業績改善の兆しが見えております。

利用時のプログラムとしては、「学習療法」「ふまねっと」はご利用者、

更にはご家族からも好評であり、ケアマネジャー等にも高く評価されており各主催団体からは、引き続き「実践モデル施設」に指定されております。

コロナ禍において約3年間にわたってボランティアの受け入れが休止状態であることから、レクリエーションプログラムが限定的となっていた状況がありますが、ボランティア団体の方から「オンライン訪問」の提案があるなど、新たなアクティビティプログラムも展開することができました。今後もこの状況だからこそできるプログラムの多様化を更に進め、利用者満足度の向上に努めて参ります。

デイサービスセンターにおける介護事故の状況ですが、16件発生しており内訳としては転倒が7件、爪切り時の出血などの加害事故4件などの事故が発生しております。加えて、服薬漏れも2件発生するなど、大事故に繋がりかねないミスも確認されておりますので、今後の事故防止について、更に配慮して参りたいと思います。

また苦情については上期に報告した1件のみとなっておりますが、今後もご家族やご利用者との密な報告・連絡・相談に努めて参ります。

感染症対策として、送迎担当職員には非接触型体温計、消毒用アルコールウエットティッシュ等を携帯させた上で、送迎時の同居家族を含めた健康状態の確認、利用者の検温を実施し、来所時には手洗い、手指消毒、うがいを実践しています。設備としては利用者が使用する全てのテーブルに飛沫防止用アクリル板を設置し、使用した場所はその都度、送迎車両を含めて消毒を実施しておりました。本年5月8日以降、感染症法上の分類が5類相当に変更となっておりますが、ウイルス自体の毒性に変化がある訳ではない状況を踏まえ、当面はこれまで同様の感染対策を継続して参ります。

３）ホームヘルパーステーション

年度当初の予算目標値に対し91％の達成率となり目標を達成することが出来ませんでしたので、訪問件数の増を目指し、居宅介護支援事業所等との連携に努めて参ります。

職員に関しては、所長以下常勤3名、パートヘルパー1名、登録ヘルパー

16名の計20名の体制で運営いたしましたが、年度途中で2名の登録ヘルパーが退職いたしました。令和5年4月1日現在、16名の登録ヘルパー平均年齢が68歳となっており70歳以上のヘルパーも7人在職しているため、ヘルパーの増員と若返りが今後の事業継続のカギとなっています。令和4年度については、健康楽習塾のサポーター1名が登録ヘルパーとして勤務を開始したことから、引き続き多方面への求人活動を継続して参ります。

　　「訪問介護」は基本的に1対1の援助であることから、ご利用者とヘルパーとの「相性」も重要な要素の一つです。言葉遣いやマナーなどでの苦情を減らすべく、また個々の技量差によるクレーム等を減らすために研修の充実に努めました。また、各ヘルパー同士の情報を確実に共有することで、ご家族を含めた利用者満足度の向上を図るためミーティングを密にしたほか、事業所からの情報発信のため広報誌の発行も行って参ります。

　　新型コロナウイル感染症対策として、登録ヘルパーに対しても逐次衛生用品の支給を行っておりますが、国の方針として利用者が感染した場合や濃厚接触者となった場合、また同居家族が同様の状態となった場合でも、訪問してのサービスの継続を求められていることから、ガウンテクニックを含めた感染対策の研修を継続して実施し、感染予防を徹底して参ります。

４）居宅介護支援事業所

　　要介護認定の有効期間が,新型コロナウイル感染症の蔓延の影響で、殆どが自動的に現状の介護度のまま自動更新となった上、最長4年に延長されたことを受け、認定調査は前年に引き続きゼロとなりました。給付管理件数は新規の紹介件数が前年度より増加したことを受け、1,358件と昨年度比約30件増加しました。

　　地域の様々な会合も、新型コロナウイル感染症の影響で中止が続く中、他事業所との情報交換や事例検討などにも支障をきたしている状況ではありますが、その分、法人内の在宅サービス事業所との意見交換会の開催等により連携を深めました。

例年改訂版を作成しておりました「あさか医療・福祉マップ」は、職員が代わるがわる新型コロナウイルスに感染したことや長期病欠したことにより残念ながら作成することが出来ませんでした。ＢＣＰ計画の早期策定により業務が停滞しないよう準備を進めて参ります。

　　新型コロナウイルス感染症の拡大により「訪問」が抑制されている現状もあり、訪問以外の方法によってご利用者とサービス提供事業所が適切につながって行けるよう尽力して参ります。

５）グループホーム

　　グループホームの利用実績は、延数で6,145名、93.53％の稼働率となり目標値の98％を達成できませんでした。入院が6回あり、入院後空床は124日とほぼ半減できました。退居は、死亡１、長期入院１、特養入居6の8名となっており、退居後空床は延べ301日と他の事業所同様、新型コロナウイルス感染症のクラスターの発生により、退居後の新規入居が滞ったことが、稼働率低下の大きな要因となっております。ＢＣＰ計画の立案と合わせ今後も空床期間の短縮に向けて努力して参ります。また、食費、光熱水費等は削減に努めておりますが、全般的な食材料費の値上がり、光熱水費の中でも使用割合の高いガスの値上がりが続いており、経営状況を圧迫しております。

　　事業目標として揚げた項目に対しては、次の通りの状況でありました。

1. 適切なサービスの提供

新型コロナウイル感染症の影響で、外出やご家族との交流が制限されていますが、4/11お花見ドライブ、9/15敬老会の行事を開催した他、利用者の誕生日を当日お祝いしたり、寿司や弁当のテイクアウトを活用したりする等利用者の「楽しみ」を構築して精神安定につなげました。また、認知症の予防・改善プログラムの「学習療法」を8名の利用者に対してほぼ毎日提供しております。歩行機能維持のための「ふまねっと」は、密集を避けるために人数を絞り、8名の利用者が取り組んでおります。

加えて、今年度も利用者の「自立支援」に着目し、調理、洗濯、掃除などの自立支援を働きかけ、結果として利用者同士の人間関係の改善にも繋げることができました。

②　人材の育成

経験者の退職後は未経験者しか採用できない現状において、日々のOJTを中心としたスタッフ教育は、経験の長いスタッフの重要かつ負担の多い業務となっています。それでも、内部研修を定期的に実施することと合わせ、副ホーム長が中心となったOJTを実施し、スタッフの技能向上に努めております。

③　安心・安全な生活の提供

毎月１日を「GH防災の日」として、避難・通報訓練及び建物の自主点検を継続して実施し、日頃の防災意識の向上に努めました。

介護事故については20件報告されておりますが、15件が転倒・転落事故であり、薬の内服ミスが2件、汁物をこぼしての火傷も1件ありました。ADLや精神状態の日内変動の確認の徹底や居住環境の整備の徹底等によって、事故を減らせるよう更に努力して参ります。

④　医療連携体制の確保

平成24年度より、「いずみ訪問看護ステーション」と連携して「医療連携加算」の算定を行っており、今年度も週１回の訪問によって、利用者の健康チェック、状態不良者への点滴の投与などを行い、健康管理を徹底致しました。

３．会議報告

　　法人の業務に関する重要事項の決定、報告のため、理事会及び評議員会を以

下の通り開催いたしました。

**（１）理 事 会**

　　①　ア　日　時　令和４年　５月２７日（金）10時00分～11時00分

イ　場　所　スプリングガーデンあさか会議室

ウ　議　題

　　　　第１号議案　令和３年度事業報告について

　　　　第２号議案　令和３年度決算報告について

　　　　　　　　　　令和３年度監事監査報告

　　　　第３号議案　役員賠償責任保険の契約更新について

第４号議案　定時評議員会の招集について

　　②　ア　日　時　令和４年１１月１８日（金）10時00分～10時40分

イ　場　所　スプリングガーデンあさか会議室

ウ　報　告

　　　　「令和４年度上期事業報告について」

　　　　「令和４年度上期仮決算報告について」

　　　　「理事長及び業務執行理事の職務執行状況について」

　　③　ア　日　時　令和５年　３月２２日（水）10時00分～11時00分

イ　場　所　スプリングガーデンあさか会議室

ウ　議　題

　　　　第１号議案　令和４年度資金収支補正予算（案）について

　　　　　　　　第２号議案　令和５年度事業計画（案）について

　　　　　　　　第３号議案　令和５年度資金収支予算（案）について

　　　　　　　　第４号議案　施設の長他の重要な職員の任免について

　　　　　　　　第５号議案　社会福祉法人いずみ福祉会給与規程の一部

改正について

第６号議案　役員賠償責任保険の契約更新について

**（２）評議員会**

①　ア　日　時　令和４年　６月１５日（水）10時00分～10時40分

イ　場　所　スプリングガーデンあさか会議室

ウ　議　題

　　　　第１号議案　令和３年度事業報告について

　　　　第２号議案　令和３年度決算報告について

　　　　　　　　　　令和３年度監事監査報告

エ　報　告

　　　　「社会福祉充実残額について」

　　　　「いずみ健康学習塾について」

４．補助金等報告

　　　令和４年度事業に対する補助金等を以下の通り受領しました。

**（１）補助金収入**

・福島県地域医療介護総合確保基金事業　　　　３，１４４，０００円

（簡易陰圧装置設置経費支援、介護人材キャリアアップ研修支援）

・郡山市結核予防事業　　　　　　　　　　　　　　　９３，０００円

５．設備投資等報告

　　令和４年度に整備した設備、什器備品等は次の通りです。

　　　・簡易陰圧装置　　　　　　　１台　　　　　　　（特別養護老人ホーム）

　　　・避難誘導灯改修　　　　　　１式　　　　　　　　　（　　　 〃　　 ）

　　　・耐火金庫　　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　 〃 　　）

　　　・モノクロレーザープリンター１台　　　　　　　　　（　　　 〃　　 ）

　　　・デスクトップパソコン　　１２台　※リース　　　　（　　　 〃　　 ）

・ipad　　　　　　　　　　１１台　※リース　　 　 （　　　 〃　　 ）

　　　・インクジェットプリンター　１台　　　　 　　 　（ 　　　〃　 　）

　　　・全自動洗濯機　　　　　　　２台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・冷蔵庫　　　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・トイレ用手摺り　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・タイムレコーダー　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・洗面台改修　　　　　　　　４台　　　　　　（デイサービスセンター）

　　　・大型冷風機　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・扇風機　　　　　　　　　　２台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・インクジェットプリンター　１台　　　　 　　 　（ 　　　〃　 　）

　　　・デスクトップパソコン　　　１台　※リース　　　　（　　　 〃　　 ）

・ipad　　　　　　　　　　　２台　※リース　　 　 （　　　 〃　　 ）

　　　・ウォッシュレット便座　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・ワイヤレスマイク　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・４３型４Ｋテレビ　　　　　１台　　　　　　　　　（グループホーム）

　　　・家庭用ファクシミリ　　　　１台　　　　 　　 　（ 　　　〃　 　）

　　　・クッキングヒーター　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・多機能電話機　　　　　　　２台　　　　　　　（居宅介護支援事業所）

６．庶務事項報告

**（１）職員数（令和５年　３月３１日現在）**

　　①特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設・短期入所）

　　　　　　常勤５３名（事務課6、栄養管理課1、ケアサービス課46）

　　　　　　臨時１０名（事務課8、ケアサービス課2）

　　　　　　派遣１８名（栄養管理課13、ケアサービス課5）

　　②デイサービスセンター

　　　　　　常勤１１名

　　　　　　派遣　１名

　　③あさかヘルパーステーション

　　　　　　常勤　３名

臨時１７名

　　④居宅介護支援事業所

　　　　　　常勤　３名

　　⑤グループホーム

　　　　　　常勤１２名

　　　　　　派遣　２名

**合　計　　１３０名（前年度比＋１名）**

常勤　８２（前年度－6名）　臨時　２７（同＋1名）

派遣　２１（同＋6名）

**（２）面会来所者（※コロナ対策によりリモート面会）**

　　　　　　年間件数　　**３１１件**

**（３）会計事務所・税理士による経営指導**

　　　　　　三部会計事務所所属税理士による会計指導

　毎月１回　年間１２回実施　他決算時指導

７．主要行事等

**令和４年**

４月　５日　・永年勤続者表彰（勤続２０年２名、１５年１名、

１０年６名、５年６名）

５月１０日　・法人監事監査実施

　　　　５月２６日　・理事会

　　　　６月１５日　・定時評議員会

６月２０日　・特養ホーム「お買い物イベント」実施

　　　　６月２９日　・非常招集訓練

　　　　７月　４日　・第26回参議院議員選挙不在者投票

　　　　７月　６日　・いずみ健康学習塾開講　毎週水曜日　１２/２１迄

　　　　７月２０日　・避難訓練

８月　５日　・コロナウィルス陽性者発生　（ショート受入停止）

　　　　８月１０日　・デイサービス臨時休業　（８/２０迄）

　　　　８月３１日　・コロナウィルス感染対策経過措置全面解除

９月１２日　・特養入居者健康診断開始　（１０/２７迄）

９月１８日　・特養ホーム「敬老会」開催　（ユニット毎実施）

　　　１０月１１日　・新型コロナウィルスワクチン４回目接種

　　　１０月２３日　・県社協主催親子施設見学会（小学５年生親子４組８名参加）

　　　１０月２５日　・福島県知事選挙期日前投票

　　　１１月１８日　・理事会

１１月２０日　・グループホームでコロナクラスター発生

１１月２２日　・特養ホーム「置くだけデパート」実施

１１月２８日　・苦情解決委員会（第三者委員参加）

１１月２９日　・特養ホーム避難訓練（夜間想定・消防署立会い）

　　　１２月　１日　・デイサービス臨時休業　（１２/６の２日間）

　　　１２月１８日　・グルーフホームクラスター終息

１２月２１日　・いずみ健康学習塾閉講式

１２月２８日　・スプリングガーデンあさか玄関ホールにて餅つき

１２月２９日　・仕事納め式

**令和５年**

　　　　１月　４日　・仕事始め

　　　　１月１６日　・コロナウィルス陽性者発生　（ショート受入停止）

　　　　１月２７日　・コロナウィルス感染対策経過措置全面解除

　３月１６日　・ふまねっとフォローアップ研修会

　　　　３月２２日　・理事会

８．その他の活動

**（１）諸会議**

・労働安全衛生法の定めにより、毎月１回産業医による巡視、「衛生委員会」を開催し、館内・館外の巡視を実施しました。

・毎月１回法人内で「管理者会議」を開催し、各事業所の事業についての報告、意見交換等を行いました。

　　　・毎月１回「安全委員会」を開催し、介護職員による喀痰吸引に関する業務について報告、意見交換等を行いました。

・隔月１回、「事故防止対策委員会」「身体拘束廃止検討委員会」を開催し介護事故の防止及び身体拘束の廃止に努めました。

・グループホームにおいて２か月に１度「グループホーム運営推進会議」を　開催し、事業の報告と意見交換等を行いました。

・グループホームにおいて毎月１回「食事委員会」を開催し利用者の食事について意見交換を行いました。

・特養において３カ月に１度（年４回）第三者委員出席による「入居検討委員会」を開催しました。

・年1回「栄養管理委員会」を開催し、施設で提供する食事の食材や栄養バランスについて意見交換を行いました。

・理事長等が下記の会議等に出席して情報交換に努めました。

**令和４年**

　　　　４月２８日　福島県老人福祉施設協議会総会

５月１３日　社会福祉法人白河学園監事監査

５月２０日　社会福祉法人白河学園理事会

５月２４日　安積地区社会福祉協議会理事会

　５月２６日　郡山市社会福祉協議会監事会

５月３１日　福島県老人福祉施設協議会２１世紀委員会

６月１０日　社会福祉法人白河学園定時評議員会

６月１７日　郡山市民生委員推薦会方部民生委員推薦準備会

　６月２２日　郡山市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会

６月２９日　令和４年度郡山市認知症予防教室運営業務委託契約

に係る指名競争入札

　　　　７月　４日　第26回参議院議員選挙不在者投票

　　　　７月　９日　令和４年度福祉の職場合同就職説明会　第1回

　　　　７月１３日　福島県老人福祉施設協議会理事会

７月２６日　郡山市民生委員推薦会方部民生委員推薦準備会

　　　　８月２３日　福島県老人福祉施設協議会オンライン職員交流会

１０月２８日　社会福祉法人白河学園理事会

**令和５年**

２月　９日　福島県老人福祉施設協議会２１世紀委員会

　　　　２月Ⅰ８日　令和４年度福祉の職場合同就職説明会　第２回

　　　　３月　２日　郡山健康科学専門学校実習指導者オンライン会議

３月　７日　郡山看護専門学校オンライン実習講師

３月１７日　しらかわ介護福祉専門学校実習指導者オンライン会議

３月２４日　社会福祉法人白河学園理事会

**（２）研修及び教育**

次のような研修に参加し、情報収集及び職員の資質向上に努めました。

・福島県　　主任介護支援専門員更新研修　　　　　　（１名）

・　　〃　　新型コロナウィルス感染対策ＷＥＢ研修　（２名）

・　　〃　　新型コロナウィルス感染対策実技講習　　（１名）

　　　　　・福島県看護協会　　高齢者施設等における感染対策　（１名）

　　　　　・ふくしまユニットケア協議会

　　　　　・　　　　　　２４時間シートの作成等に関する研修　（１名）

・福島県老人福祉施設協議会

* 〃　 　　　　　　　　施設ケアマネ研修 （１名）

・　　　　 〃　 　　　　　　　　医務担当職員研修 （４名）

* 〃　 　　　　　　 方部別介護技術研修 （２名）
* 〃　　　　　　　　　災害リスク対策研修 （１名）
* 〃　　　　　　　　　　給食担当職員研修 （１名）
* 〃　　　　　　デイサービス県中部会研修 （３名）
* 〃　　　　　　　　機能訓練担当職員研修 （４名）

・福島県社会福祉協議会

・　　　　　〃　　　　　 ピンポイント介護技術研修 （１名）

・　　　　　〃　　　 　　　　　　看護等職員研修 （２名）

・　　　　　〃　　　 キャリアパス対応中堅職員研修 （１名）

・　　　　　〃　　　 　キャリアパス制度課題別研修 （１名）

・　　　　　〃　　　 　　リスクマネジメント研修 （１名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　訪問介護技術向上研修Ⅰ（１名）

　　　　　・福島県安全運転管理者協会　 安全運転管理者講習 （１名）

・介護労働安定センター　 メンタルヘルス研修 （複数）

　　　　　・公文教育研究会学習療法センター

実践モデル施設の集い（オンライン）　　（複数）

　　　　　　　　　　　〃　　　　　オンラインセミナー　　　　（複数）

　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　マスター研修　　　（複数）

　　　　　・事故防止委員会研修　あいおいニッセイ同和に依頼　（複数）

　　　　　・特養ホーム　 リスクマネジメント研修　　　　　 　（複数）

　　　　　・特養ホーム　 メンタルヘルス対策研修会　　　　　 （複数）

　　　　　・特養ホーム　 感染症対策研修会　　　　　　　　　 （複数）

　　　　　・特養ホーム　 身体拘束・不適切ケア研修会　　　　 （複数）

・特養ホーム　 喀痰吸引フォローアップ研修会　　　 （複数）

・特養ホーム　 機能訓練担当者研修会　　　　　　　 （複数）

・特養ホーム　 ターミナル（看取り）研修会　　　　 （複数）

・特養ホーム　 認知症ケア研修会　　　　　　　　　 （複数）